

図書館づくりを進める会は「フレンズ」に脱皮して20年 ＜伊万里市民図書館づくり序章の頃＞

寺田 芳朗（寺田大塚小林計画同人）

この7月7日、佐賀県伊万里市民図書館は開館20年。友の会の図書館フレンズいまりは20歳の星祭りを祝う。私は、かつて飲むなと言われ渡された1995年ボーカユの赤を持ち、森田一雄元館長（91歳）や図書館フレンズ伊万里の友人達との再会に出かけてゆく。これは『味に想う』（来館され懇談した角田房子さん著）の3本のワインのエピソードに掛けた2015年に参集する約束ごとで、図書館づくり伊万里塾（別名森田学校）の20年同窓会というわけである。

さて、伊万里での＜住民と図書館づくり＞について書くようご指示を頂いたけれど、本誌 108号では、会員396人に成長したフレンズの方々が概要報告をされているし、詳しくは、伊万里市民図書館叢書第三集の『序章 私たちの図書館は。もつためでなく あるために』に、これまでとこれからについて易しく深く楽しく記されている。菅原峻先生も絶賛でしたから、お近くの図書館の相互貸借でご覧頂ければうれしい。それで私は、この図書館づくりの物語の

裏方大道具係であったので、藪にらみだが、お話をいくつか思い出して記してみたい。

○設計者選びプロポーザル。発問は、受験者が図書館そのものをどこまで理解しているかを試していた。その質問は行政自身の課題ではないかと気力減退の私に、荏田町立図書館の増田浩次館長が電話で親しく背中を押してくれた。「伊万里は知名度高い街だから頑張れ。荏田町図書館に頂いた便りを読んだらいい。」1991年12月号。伊万里開館の4年前の情景。この文に勇気を頂いて、審査委員ではなくこの人達に向けて提案を書いてみようと思ったのだった。

○第1回の顔合わせ。図書館づくりを市長から信託されていた森田館長は、「市政全般の文化化と協働」という提言原稿を私に渡し意見を求めた。二次試験だと思った。のちに『美しい生活者として』という冊子になり、始まる図書館づくりでの市民との向き合い方も示していた。伊万里物語りのこの伏線も、確かめて頂けるとうれしい。この「自治と都市計画理念」は私の領分でもあった。学習型市民参加、図書館づくり伊万里塾は半分を学校図書館連携をねらって進められ、十分な設計情報を開示した。元新聞編集委員の森田館長は司書に聞く。図書館が支える個人の学びは、その先に何があるの？ E. フロムをてこにして、図書館を市民の生き方から考える。図書館員や参画する市民や、図書館を判ったつもりの私を鍛えてくれた。森田一雄館長は市民と向き合った。そしてあの図書館設置条例第一条が書かれる。この道筋が後の犬塚館長古瀬館長や、図書館員につながっている。○設計が終わり議会承認の後に、市長選挙となった。「分不相応な図書館箱物建設を止める」が争点の役所内の騒乱。大新聞の地方版も建設批判側で応援した。結果は、過半数の市民が反図書館候補に投票した。工事発注は足踏み、変更検討。新首長の公約方針の風に関係部局は追隨して図書館は日影の身になってしまった。市民を信じた進める会も理不尽な逆風に巻き込まれた。まだ薄ら寒い玉屋デパート屋上ガーデン、数人で話し合った情景をいまでも忘れない。「本来、図書館は梁山泊。行政施策に対してカウンタープランを作る人を応援するんだ」などと遠吠えをしたものだ。図書館側の市民も多様な地縁人脈を求めて動いた。徐々に、小さな変更で事業は動いてゆく。

そのとき少数市民がともに耐えて働いた。という訳で、いま文科省のHPで、官民協働の成功事例として伊万里物語を読んだり、伊万里は特別でいいですねなどと他所で言われると、違和感を飲み込むこともある。この日影の時代を経験して、進める会は「いつでも変わりうる役所」との向き合い方を考える。穏やかに自律した。市民側も文化化が必要だ。ぜんざい会もボランティアも仲間づくりも一味違った。「佐賀の女性は人を働かせるのがうまいですね」と、竣工で感想文を書いた真意だ。さて、この「自律と構え」だが、拡大し世代交代するフレンズにリレーできるものであろうか。○さて大道具係は、開館で始まる市民協働の為に見える旗印を考えていた。（説明が難しい）フレンズショップに変化する砦を玄関に置いた。そして磁器製の竣工銘板。参画した市民の名前を焼付けで列記した。祝20年。楽しくおだやかな追い風だけではなかった図書館づくりの序章を思い出す。伊万里市民図書館いやさか。これからも、「図書館と市民。そなえよ、つねに。」

記

基本設計から実施設計完了に至る平成5年1月～12月の期間、市民各界の代表である図書館建設懇話会・行政・設計者協働で設計内容の検討が進められた。また、この官民協働のかたちを伊万里学の実践にたかめるために併行して、「図書館づくり伊万里塾」[学校図書館を考える伊万里塾]が一般市民に公開のかたちで1年間開催された。竣工にあたり「市民とともにぞたつ 市民の図書館」のはじまりとして銘記する。

基本計画 伊万里市民図書館建設委員会 図書館計画施設研究所

図書館建設懇話会

図書館読書友の会：藤田高生・古賀旭子・力武富士子・堤優子・田中正義／ 婦人連絡協議会：小島久子

図書館づくりをすすめる会：岡田政昭・加茂優子・盛泰子・一ノ瀬芳信・中村悠美子／ 文化連盟：徳永政夫

伊万里市郷土研究会：田中時次郎・山口房一・井本孝郎／ 身体障害者福祉協会：古賀誠六

母と子の読書会：赤司耕子・浦川文江・山田京子・川田涼子・榎波智子・渡部きよめ／ 消費者グループ協議会：野田京子

伊万里こども劇場：下平照美／青年代表：久保田敏則／青年会議所：今井定也・小川秀樹／ 婦人代表：川田美保子

市老人クラブ連合会：古賀竹一／ソロブチミスト：山口千鶴子・小笠原照代・太田照代／ れんげの会：松永士郎

地元区長：原京次郎／ 社会教育委員代表：堀田博雄／小中連合PTA代表：西曉浩／園長会：山口長

市内高等学校校長会：江頭正人／小中学校校長会：田中静二・小島一郎 伊万里情報センター：吉富常彦／内野香

市民ボランティア

伊万里こだまの会：末次勝子／点訳率仕の会「きつつき」：児島享子・森田出子・松野きみよ／

てんとうむしの家：前山ノブ・岩崎静子・東島邦子・鶴田キヌエ・高木美須子 方違との話し合い

図書館協議会

中島公江・田内法子・水上広子・金岡恭子・高田保彦・前山博・小池和栄・伊木貞夫（以上平成5年度委員）



図書館だより

くらしの中に図書館を／

1991年12月1日 第15号 発行 福岡県京都市部荏田町 葛久町1-17-8 荏田町立図書館 ☎436-0846

便り

※伊万里市からバスに揺られて2時間半、子供達を含め総勢二十八名の方たちによる見学会の報告の中から紹介させていただきました。

変えてくれた図書館

私は今まで、図書館は古い本を借りに行く所、本屋さんは新しい本を選ぶ所、楽しむ所だと思っていました。子供を連れて図書館に行くと、「どれ借りるの？早く決めて！」「さあ帰るよ。早く帰って読もうね……」というのがいつも、本のセリフ。本屋さんにいった時は、ああ綺麗だね、面白そうね。私の好きな作家の新作出てないかな、などとこれあれも聞いてみて「あーどっか座る所ないかな」というのが本屋での私でした。ところが今度、荏田町立図書館を見学させてもらって初めて、私の望みが一つにまとまったのが図書館だとわかりました。好きな本を好きなだけ、自分の楽な格好で、静かに、又はおしゃべりしながら、楽な気持ちで過ごせるなんて、すごくステキな事です。

伊万里にも、ぜひこんな図書館を作りたい。又、全国の図書館のイメージ一新のための一ステップとなるように図書館づくりの運動を頑張っていかなければと心に

感動・感嘆・羨望

感動、感嘆、羨望、どの様な言葉を書き並べても足りない位の素晴らしい荏田町の図書館でした。私共の望んでいる、お年寄りから幼児まで気軽に楽しんで行ける図書館、まさにその通りでした。ゲートボール場あり、子供の遊び場あり、テラスには白い素敵なテラス、内部には思いがけないような椅子、テーブルの配置、他の図書館を見学していない私には、目をみはる事ばかりでした。

高い天井、ガラス張りの明るい壁面、和室の部屋では中学生らしき子が宿題に精を出し、パールの暖かい色のソファが並べられている姿、奥まった小部屋では紙芝居を見ている係の方、児童書架の配置の工夫、その近くにある子供トイレの可愛らしさ、形の小さなトイレには恐怖はないでしよう。カウンターも、子供用、大人用と二通りあり、CDからビデオまで、とにかくすべてが心遣い行き届いたものでした。

私が最も気に入ったコーナーは、円形の児童の反対側に女性誌（週

刊誌、婦人雑誌、女性公論 等々主婦として読みたいものも毎月買えないで、どうもためらって買わずらりと並べある所でした。すぐ側には例のテーブル椅子が配置され、お年寄りの方や高校生らしき少女が読んでいるおられました。その他、施設では、二画面があり、小規模な展覧会が出来るコーナー、会議室、テレビ室等々、いたれりつくせりのものばかりでした。また、仕事をなさっている係の方々の楽しい作業衣姿と、生き生きとした活動ぶり、生きている図書館の感を強くしました。

もう一度行ってみたい図書館

もう一度行ってみたい図書館だなあと思ったのは、外庭の小山のすぐそばに山へかけ登り、このままでは館内には入らずに遊んでいるの、短い時間の見学でしたが、その間にも幅広い層の人達が次々と黄色い図書館の入口の袋を持って往来され、何とものほのぼのとして、すばらしい設備のAVホールでは、土、日曜に映画会があり、人形劇も行われているそうですよ。うかという時（図書館へ行くという）そんな図書館でした。